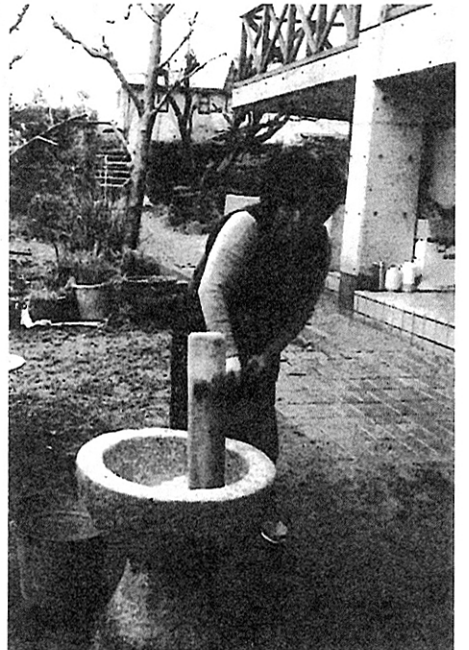




さらば車の運転！
新しい価値感と共に



年末に友人宅で行った餅つき

80歳になった。この節目を契機に車を運転するのを止め、運転免許証を返上することに決めた。

50年以上の「車有り」の生活との別れは寂しさが多少ある。しかし今はそんなことはどうでもいい話に思え始めた。

このことを一番喜んでるのは家族だ。もし人身事故を起こせば取り返しがつかないことになる。

高齢者の事故のテレビニュースを見る度に良い決断をしたと自画自賛して

80歳になった。同時にこの節目を契機に車を運転するのを止め、運転免許証を返上することに決めた。

50年以上の「車有り」の生活との別れは寂しさが多少ある。しかし今はそんなことはどうでもいい話に思え始めた。

このことを一番喜んでるのは家族だ。もし人身事故を起こせば取り返しがつかないことになる。

高齢者の事故のテレビニュースを見る度に良い決断をしたと自画自賛して



正月の間玄関を飾った花や木と孫

正月の間、玄関を飾ってくれた花や木。それをじっくりと見ながら思う事は、花や木が咲いている時だけが自然のものではない。

枯れたように見え、死んだように見える冬こそ、春の準備をして私たちを待っていたようだ。

庭に咲く名も知らない花が、私たち人間が原点に立ち返ることの大切さを教えてくれているようだ。車のない生き方の大切さもここに示されているように思える。いわばその新しい価値感を自然と共有し、生きて行こうと思う。

妻はこの私の変化を黙って毛糸を編みながら見守ってくれている。多分、心の中で自分で決断した今回のことを喜んでいるのだろう。

友人に話すと私の決断を喜んでくれ、自宅で鍋を囲んで、祝ってくれた。また、車返納が終わった時点で、家族全員集合し、一大決心を祝ってくれるという。思わぬところで、家族全員が集まる機会ができた。結婚以来の一大決心。もう後戻りは出来ない。前方には夢がある、希望の夢が...